

唐櫃小学校六年 国語 家庭学習課題一（答え）

一、課題内容・・・「地域の施設を活用しよう」（教科書 p34～35）

めあて「地域の施設の特ちょうや利用方法などを整理し、活用の仕方を理解しよう」

〈各施設の整理〉

施設名	置いてある資料	特ちょう・利用方法
【例】埋蔵文化財センター	遺跡からの出土品	神戸市内の遺跡からの出土品を調査・収蔵・修理する。修理の様子を見ることが出来る。
【例】神戸文学館	神戸ゆかりの小説家・詩人・文学者の作品	百年以上前に礼拝堂として建築された。時代ごとの神戸の風景写真と共に作品や文学者ゆかりの品が展示されている。
【例】水の科学博物館	水に関する資料	奥平野浄水場旧急速ろ過場上屋を保存活用。水道水ができるまでを学ぶことができる。
【例】竹中大工道具館	大工道具	大工道具を収集・保存することを目的としている日本唯一の博物館。木造建築に使った道具や日本の伝統的な木造建築などを展示。

調べたことがわかりやすく整理されていれば○です。

二、〈今日の学習のまとめ〉

① 今日初めて知ったこと②これからの調べ学習で活用してみたい施設とその理由の2段落に分けて6～8行で書いていけば○です。

唐櫃小学校六年 国語 家庭学習課題二（答え）

一、課題内容・・・「春のいぶき」（教科書 p38～39）

めあて「春を感じさせる言葉を使って、春を伝える俳句や短歌を作ろう」

② 〈俳句・短歌のきまり〉

俳句・・・俳句には季節を表す（季語）が入る。五・（七）・（五）の十七音で成る。

短歌・・・五・（七）・五・（七）・（七）の三十一音で成る。

五、〈今日の学習のまとめ〉

「季節の言葉」に触れた学習であるという視点で6～8行で書くことができているならば○です。

唐櫃小学校六年 国語 家庭学習課題三（答え）

一、課題内容・・・「漢字の広場」（教科書 p44）

めあて「町の出来事を想像しながら新聞記事のように出来事を伝える文章を書こう」

・言葉を全部使う。

・一つ一つの漢字を正しく書く。

・町の出来事や様子がよく分かるように書く。

・新聞記事のように書く。（いつ、どこで、何（だれ）が、何を、どうした）できているならば○

一、課題内容・・・「笑うから楽しい1」（教科書 p45～47）

めあて「筆者の主張や事例がどの段落にあるか確かめながら読もう」

① 〈題名についての自分の考え〉

主語、述語がずれていませんか。句読点はきちんとうてていますか。読ませてもらおうのを楽しみにして  
います。

要点は自分でまとめた言葉なので答えの通りでなくてもだいたい同じなら○です。

二、三、四段落では①②と要点の例を二つ挙げました。①より②の方が具体的に分かりやすくなっています。

	段落	段落の役割と要点
初め	1	段落の役割（主張） 要点 体の動きと心の動きは密接に関係している。
中	2	段落の役割（事例1） 要点 ①脳は体の動きを読み取って、それに合わせた心の動きを呼び起こす。 ②笑うような表情をすると脳が楽しい気持ちを引き起こすという実験をした。
中	3	段落の役割（事例2） 要点 ①表情によって呼吸が変化し、脳内の血液温度が変わることでの心の動きが変わる。 ②笑顔になって多くの空気を吸い込むと、脳を流れる血液が冷やされ楽しい気持ちになる。
終わり	4	段落の役割（主張） 要点 ①体の動きで心の動きを変えてみよう。②につこり笑って楽しい気持ちになろう。

四段落は、以前アドバイスした通り、一段落とは違う文からより深い筆者の主張を見つけることができます。

〈今日の学習のまとめ〉

事例や書き方に関して自分の考えを書くことができているらば○です。